CASBEE-建築(新築)2014年版 ■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: 九大文系教育研究棟 CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22) スコアシート 実施設計段階 建物全体·共用部分 住居·宿泊部分 環境配慮設計の概要記入欄 配慮項目 重み 全体 評価点 評価点 係数 係数 Q 建築物の環境品質 3.3 Q1 室内環境 0.40 3.3 1 音環境 3.0 0.15 3.0 1.1 騒音 3.0 0.40 1.2 遮音 3.0 0.40 1 開口部遮音性能 3.0 0.30 2 界壁遮音性能 3.0 0.30 界床遮音性能(軽量衝擊源) 界床遮音性能(重量衝擊源) 3.0 0.20 3.0 0.20 1.3 吸音 3.0 0.20 2 温熱環境 3.0 0.35 3.0 2.1 室温制御 0.50 3.0 1 室温 0.60 3.0 外皮性能 3.0 0.40 2 3 ゾーン別制御性 2.2 湿度制御 0.20 3.0 2.3 空調方式 3.0 0.30 3 光·視環境 3.4 0.25 3.4 3.1 昼光利用 3.4 0.30 1 <u>昼光率</u> 2 方位別開口 100人講義室(2)について算定 1.53% 3.0 0.60 共用部分にトップライトを設置(SD-112,113参照) 0.40 3 昼光利用設備 4.0 3.2 グレア対策 1 昼光制御 ブラインドに合わせ 0.30 4.0 庇及びルーバーを組み合わせて昼光制御(SD-114~123参照) 4.0 1.00 3.3 照度 3.0 0.15 3.4 照明制御 3.0 0.25 4 空気質環境 3.8 0.25 3.8 4.0 0.50 1 化学污染物質 ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用(SD-004参照) 4.0 1.00 2 アスペスト対策 4.2 換気 0.30 3.3 必要換気量は30m3/h人にて算出(換気計算書参照) 換気量 0.33 4.0 30 自然換気性能 3.0 0.33 3 取り入れ外気への配慮 3.0 0.33 4.3 運用管理 4.0 0.20 CO₂の監視 3.0 0.50 喫煙の制御 全館禁煙としている 5.0 0.50 Q2 サービス性能 0.30 3.6 1 機能性 3.5 0.40 3.5 1.1 機能性・使いやすさ 4.0 0.40 1 広さ・収納性 高度情報通信設備対応 3 バリアフリー計画 建築物移動等円滑化基準(最低限レベル)を満たしている 1.00 1.2 心理性・快適性 3.0 0.30 1 広さ感・景観 3.0 0.50 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 0.50 3.0 1.3 維持管理 3.5 0.30 維持管理に配慮した設計 防汚性の高い建材の採用や外壁面への水切の設置等(SD-114~123 0.50 維持管理用機能の確保 3.0 0.50 3 衛生管理業務 2 耐用性·信頼性 0.30 3.6 3.6 2.1 耐震·免震 3.8 0.50 重要度係数として1.25倍を設定している (NS-001参照) 耐震性 4.0 0.80 1 2 免震・制振性能 3.0 0.20 2.2 部品・部材の耐用年数 3.4 0.30 躯体材料の耐用年数 3.0 0.20 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3.0 0.20 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3.0 0.10 空調換気ダクトの更新必要間隔 空調・給排水配管の更新必要間隔 上水:SUS[C]、洗浄水:VLP[B]、雑排水:炭素鋼鋼管(白)[C](特-2参 4 5.0 0.10 4.0 0.20 5 主要設備機器の更新必要間隔 0.20

	4				0.00	E0000000000000000000000000000000000000	•	
	2.4	信頼性	対流珠(ガス・雪気)の八地ル クール・レエー ゴの記字にして名	3.6	0.20	-	-	
		1 空調・換気設備	熱源種(ガス・電気)の分散化、クールヒートチューブの設置による負	5.0	0.20		-	
		2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
		3 電気設備		3.0	0.20		-	
		4 機械・配管支持方法	耐震クラスをAとして設計(特-2参照)	4.0	0.20		-	
		5 通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3		生・更新性		3.7	0.30	-	-	3.7
	3.1	空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
		1 階高のゆとり	階高4.0m以上(SD-112,113参照)	5.0	0.60		-	
		2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.23(壁長さ比率計算書参照)	4.0	0.40		-	
	3.2	荷重のゆとり	3,900n/㎡であるが、架構用についての値が小さいのでレベル4	4.0	0.30		-	
	3.3	設備の更新性		3.0	0.40		-	
		1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
		2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
		3 電気配線の更新性		3.0	0.10		_	
		4 通信配線の更新性		3.0	0.10			
		5 設備機器の更新性		3.0	0.20			
		6 バックアップスペースの	<u> </u>	3.0	0.20			
			(唯一)	3.0				0.4
		環境(敷地内)		_	0.30	-	-	3.1
		環境の保全と創出	外構緑化指数算定53.67%(施-104)	3.0	0.30		-	3.0
2	<u>まちな</u>	み・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性	生・アメニティへの配慮		3.5	0.30		-	3.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向	上 庇や中庭などのアメニティ空間を確保。展望室を地域に開放。(SD-	4.0	0.50	-	-	
		敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
I.R.		物の環境負荷低減性				-		3.7
		ガンス・ス・ストローの人はエー・			0.40		-	
		- •				-		4.3
		小皮の熱負荷抑制	1 == /1 = 11 = = == == = = = = = = = = =	4.9	0.20		-	4.9
		エネルギー利用	トップライト、クールヒートチューブを設置(SD-101,104参照)	4.0	0.10	-	-	4.0
3	設備シ	ンステムの高効率化	BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) —	4.7	0.50	-	-	4.7
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	BPI=0.808, BEI=0.76	4.7	1.00	-	-	
		集合住宅の評価(3c)			-		-	
4	効率的	内運用		3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
		4.1 モニタリング		3.0	0.50		_	
		4.2 運用管理体制		3.0	0.50		_	
		集合住宅の評価		9.0				
							-	
		4.1 モニタリング		3.0	-		-	
	-	4.2 運用管理体制			-		-	
		・マテリアル		_	0.30	-	-	3.3
1	水資源	原保護		3.7	0.20		-	3.7
		節水	擬音装置付暖房洗浄便座、自動水栓採用(M-001·101参照)	4.0	0.40		-	
		節水 雨水利用・雑排水等の利用	操音装置付暖房洗净使座、目動水栓採用(M-001·101参照)	4.0 3.6	0.40 0.60		-	
		雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入	の有無				- - -	
		雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入	の有無	3.6	0.60		- - -	
2	1.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導		3.6 3.0	0.60 0.70		- - - -	3.3
2	1.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 主性資源の使用量削減	の有無	3.6 3.0 5.0 3.3	0.60 0.70 0.30 0.60			3.3
2	1.2 非再生 2.1	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 主性資源の使用量削減 材料使用量の削減	の有無	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10			3.3
2	非再生 2.1 2.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 性資源の使用量削減 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用	の有無 込の有無 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20	5		3.3
2	非再生 2.1 2.2 2.3	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 販存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル	の有無 入の有無 入の有無 キャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 おりが	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0 5.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20	-		3.3
2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 財存連築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料以外におけるリサイクル・	の有無 入の有無 入の有無 入の有無 入の有無 キャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 オの使用 高炉セメントを基礎・地中梁~1階床のコンクリートに採用 (NS-002参 材の使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0 5.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20	-		3.3
2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 板内使量躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル 躯体材料以外におけるリサイクル 持続可能な森林から産出され	の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 AT A A A A A A A A A A A A A A A A A A	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0 5.0 3.0 2.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10	-		3.3
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 性性資源の使用量削減 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクルシ 振林材料以外におけるリサイクル 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への	の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 AT A A A A A A A A A A A A A A A A A A	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0 5.0 3.0 2.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10			
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 性性資源の使用量削減 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクルが 躯体材料以外におけるリサイクルが 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避	の有無 入の有無 入の有無 入の有無 大の有無 キャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 本の使用 大材の使用 大木材 大木材 ひ取組み	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0 5.0 3.0 2.0 3.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20			3.3
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクルが 無体材料以外におけるリサイクルが 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使	の有無 入の有無 入の有無 入の有無 大の有無 キャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 本の使用 大材の使用 大木材 大木材 ひ取組み	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20	-		
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクルが 無体材料以外におけるリサイクルが 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上へで 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使フロン・ハロンの回避	の有無 入の有無 入の有無 入の有無 大の有無 キャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 本の使用 大材の使用 大木材 大木材 ひ取組み	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20			
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 注性資源の使用量削減 大特性用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料以外におけるリサイクル・ 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避	の有無 入の有無 入の有無 入の有無 大の有無 キャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 本の使用 大材の使用 大木材 大木材 ひ取組み	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.20 0.2	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導 主性資源の使用量削減 材料使用量の削減 駅体材料におけるリサイクル・ 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料以外におけるリサイクル・ 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上へ(物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の侵 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等)	の有無 入の有無 入の有無 入の有無 大の有無 キャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 本の使用 大材の使用 大木材 大木材 ひ取組み	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70			
3	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料のにおけるリサイクル・ が関合有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	の有無 入の有無 入の有無 入の有無 大の有無 キャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 本の使用 大材の使用 大木材 大木材 ひ取組み	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.70 - 0.50 0.50			3.0
3 LR3	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 性性資源の使用量削減 材料使用量の削減 躯体材料におけるリサイクル 躯体材料におけるリサイクル 排続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境	の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 がかの使用 が大がの使用 が大がの使用 が大がでは、サイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 の取組み 用	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70			3.0
3 LR3	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料のにおけるリサイクル・ が関合有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	の有無 入の有無 入の有無 入の有無 大の有無 キャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 本の使用 大材の使用 大木材 大木材 ひ取組み	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.70 - 0.50 0.50	- -		3.0
3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 性性資源の使用量削減 材料使用量の削減 躯体材料におけるリサイクル 躯体材料におけるリサイクル 排続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境	の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 がかの使用 が大がの使用 が大がの使用 が大がでは、サイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 の取組み 用	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 -		-	3.0
3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 为染物 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料におけるリサイクル・ 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境	の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 がかの使用 が大がの使用 が大がの使用 が大がでは、サイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 の取組み 用	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.50 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33		-	3.0 3.3 3.7
3 LR3 1	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染射 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 技性資源の使用量削減 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクルシ 躯体材料以外におけるリサイクルシ 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮	の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 がかの使用 が大がの使用 が大がの使用 が大がでは、サイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 の取組み 用	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33		-	3.0 3.3 3.7
3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染剂 3.1 3.2 敷 地绿蓝斑 2.1 2.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料以外におけるリサイクル・ 排続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮	の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 がかの使用 が大がの使用 が大がの使用 が大がでは、サイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 の取組み 用	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25		-	3.0 3.3 3.7
3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染剂 3.1 3.2 敷 地绿蓝斑 2.1 2.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 4 独排水等利用システム導入 技性資源の使用量削減 一般 一	の有無 I入の有無 I入の有無 I入の有無 I入の有無 I入の有無 INSTANCE INS	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.7 3.1 3.0 3.5	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25		-	3.0 3.3 3.7
3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染剂 3.1 3.2 敷 地绿蓝斑 2.1 2.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 性質源の使用量削減 材料使用量の削減 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料以外におけるリサイクル・ 排続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上へ(物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の侵 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減	の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 L人の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 がかの使用 が大がの使用 が大がの使用 が大がでは、サイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 の取組み 用	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.7 3.1 3.0 3.0 3.5 4.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.50 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50		-	3.0 3.3 3.7
3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染剂 3.1 3.2 敷 地绿蓝斑 2.1 2.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 躯体材料におけるリサイクル 躯体材料におけるリサイクル 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上へ(物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25		-	3.0 3.3 3.7
3 LR3 1	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染射 3.1 3.2 敷 地绿蓝斑 2.1 2.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料におけるリサイクル・ 排続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制	の有無 I入の有無 I入の有無 I入の有無 I入の有無 I入の有無 INSTANCE INS	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25		-	3.0 3.3 3.7
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染料 3.1 3.2 敷 地球環 2.1 2.2 2.3	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料におけるリサイクル・ 排続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染 和 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 技性資源の使用量削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料以外におけるリサイクル・ 療体材料以外におけるリサイクル・ が大きれて、のを出され ・ お材の再利用の能性向上で、の数含有材料の使用回避	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33		-	3.0 3.3 3.7
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染 和 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 1 無排水等利用システム導入 2 維排水等利用システム導入 2 維排水等利用システム導入 2 推排水等利用システム導入 2 性資源の使用量削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル 排続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の配慮 大気汚染防止	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.7 3.1 3.0 3.0 3.5 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.1 3.0	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染 和 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 技性資源の使用量削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル 線体材料以外におけるリサイクル 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上へ(物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の侵 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 1 原棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.7 3.1 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染 和 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 技性資源の使用量削減 材料使用量の削減 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料におけるリサイクル・ 卵体材料におけるリサイクル・ が関合有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染既 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 張動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 熟 地球混双 2.1 2.2 2.3 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 躯体材料におけるリサイクル 躯体材料におけるリサイクル 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向上への 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 2 振動・悪臭の防止 1 騷音・振動・悪臭の防止 1 懸音・振動・悪臭の防止 1 懸音・振動・悪臭の防止 1 懸音・振動・悪臭の防止	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 熟 地球混双 2.1 2.2 2.3 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 注性資源の使用量削減 材料使用量の使用側削減 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料におけるリサイクル・ 線体材料におけるリサイクル・ が関合有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改慮 変勢への配慮 2 汚水処理負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 張動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 熟 地球混双 2.1 2.2 2.3 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 注性資源の使用量削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル・ 躯体材料以外におけるリサイクル・ 持続可能な森林から産出され 部材の再利用の使用回避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水埋理負荷抑制 2 汚水処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 熟 地球混双 2.1 2.2 2.3 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 技性資源の使用量削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 服暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境での配慮 大気形態が止 温熱環境での配慮 大気形態が出 温味での配慮 大気形態が出 温味での配慮 大気形態が出 温熱環境での配慮 大気形態が出 温熱環境の配慮 大気形態が出 温熱環境のの配慮 大気形態が出 、質が、の配慮 大気形態が出 、質が、の配慮 大気形態が出 、質が、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30 0.50 0.50 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.2	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 第 3.1 3.2 2.1 2.2 2.3 3.1 3.2 3.1 3.2 3.1 3.2 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム 2 性資源の使用量削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル 線体材料以外におけるリサイクル 持続可能な森林から産出され 部材の再利用可能性向避 有害物質を含まない材料の使 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 素大気汚染防止 温熱環境への配慮 素大気汚染防止 温熱環境悪化の配慮 素大気汚染防止 温熱環境悪化の配慮 素大気汚染防止 温熱環境での配慮 素大気汚染防止 温熱環境での配慮 素大気汚染防止 温熱環境での配慮 素大気汚染防止 温熱環境での配慮 また気汚染防止 温熱環境での配慮 素大気汚染防止 温熱環境での配慮 また気汚染防止 温熱環境での配慮 また気汚染防止 温熱環境での配慮 また気汚染防止 温熱環境の配慮 また気汚染防止 温熱環境の配慮 また気汚染防止 温熱環境の配慮 また気汚染防止 温熱環境での配慮 また気汚染防止 温熱環境の配慮 また気汚染防止 温熱環境の配慮 また気汚染防止 温熱環境の可能 また気形が発力を表する。 また気に対している。 また気に対している。 また気に対している。 また気に対している。 また気に対している。 また気に対している。 また気に対している。またないは対している。またないののでは対している。またないのでは対しないる。またないのでは対している。またないのでは、またないのでは対している。またないのでは対している。またないのでは対している。またないのでは、またないので	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.7 3.1 3.0 3.0 3.5 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 0.50 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 第 3.1 3.2 2.1 2.2 2.3 3.1 3.2 3.1 3.2 3.1 3.2 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 4 特性用量の削減 一般 大力	の有無 I入の有無 I入の有無 I入の有無 I入の有無 I入の有無 INS-002参 INS	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30 0.50 0.50 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.2	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 第 3.1 3.2 2.1 2.2 2.3 3.1 3.2 3.1 3.2 3.1 3.2 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 4 特性用量の削減 一般 大力	の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 L入の有無 エャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 がの使用 がの使用 がの使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材 D取組み 排出率:82%	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.7 3.1 3.0 3.0 3.5 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 0.50 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1
3 LR3 1 2	1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 第 3.1 3.2 2.1 2.2 2.3 3.1 3.2 3.1 3.2 3.1 3.2 3.1 3.2	雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 2 雑排水等利用システム導入 4 特性用量の削減 一般 大力	の有無 入の有無 入の有無 上入の有無 土ャンパス全体として雑排水処理を行いトイレ洗浄水等に使用(水処 才の使用 才の使用 排水管にリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管を採用 た木材)取組み	3.6 3.0 5.0 3.3 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.70 0.30 0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	3.3 3.7 3.1